

**令和元年度久留米市田主丸財産区  
歳入歳出決算審査意見書**

**1 審査の対象**

令和元年度久留米市田主丸財産区歳入歳出決算及び附属書類

**2 審査の期間**

令和2年7月15日から令和2年9月1日まで

**3 審査の方法**

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は法令に基づいて調製されているか、決算計数等は正確であるか、予算の執行は適正になされているか等を主眼として関係諸帳簿その他の書類等により照合及び確認、内容の検討を行うとともに、関係職員から補足説明を聴取し、審査を実施した。

**4 審査の結果(意見)**

審査に付された決算書及び附属書類は関係法令に準拠して調製されており、おおむね適正に作成されていた。また、現金・預金については、残高証明書と歳入歳出差引残高とが符合した。

以下、令和元年度決算の概要及び意見を述べることとする。

なお、決算審査資料を末尾に添付しているので参照されたい。

**(1) 決算の概要**

(単位:千円・%)

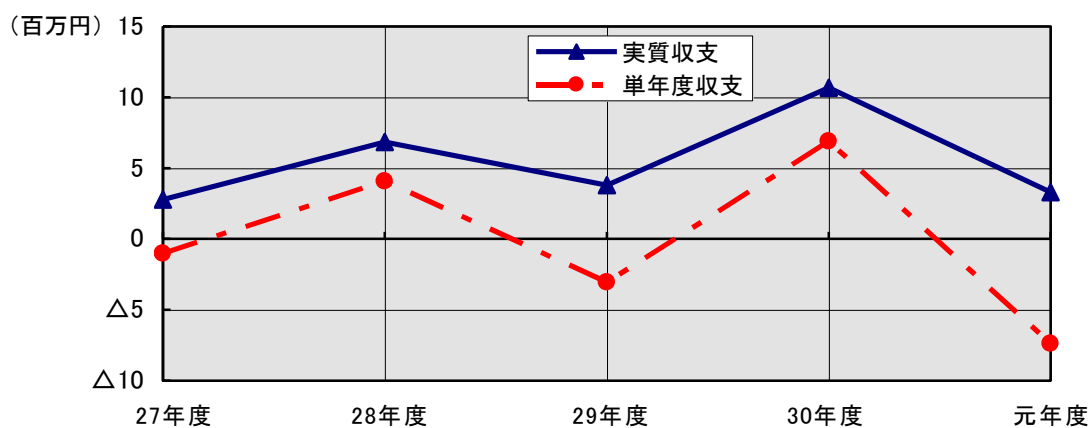
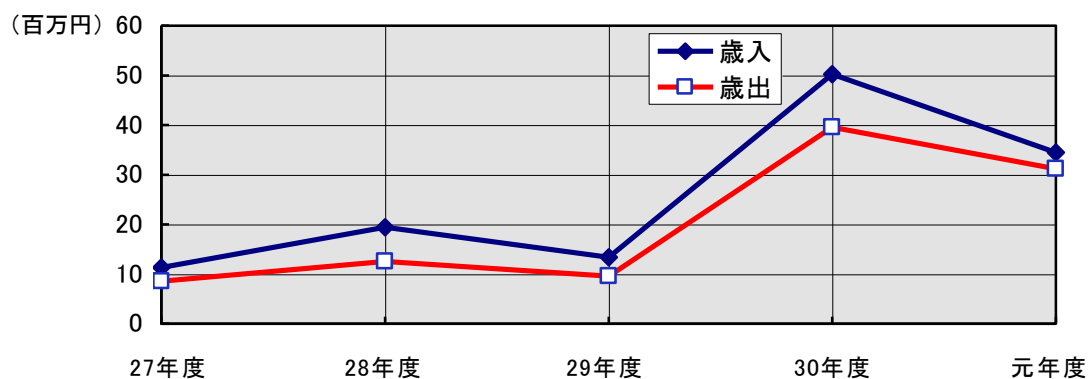
区 分	令和元年度 A	平成30年度 B	比較増減額 A-B C	増減比率 C/B	予算執行率
予 算 現 額	52,818	72,360	△ 19,542	△ 27.0	/
歳 入 決 算 額	34,486	50,220	△ 15,734	△ 31.3	65.3
歳 出 決 算 額	31,196	39,542	△ 8,346	△ 21.1	59.1
歳入歳出差引残額	3,290	10,678	△ 7,388	△ 69.2	/

歳入歳出差引残額329万円が、剰余金として翌年度に繰り越されている。

本年度の歳入の主なものは、財産収入1,293万5千円、繰越金1,067万8千円である。一方、歳出の主なものは、林業費2,339万5千円、諸支出金361万3千円となっている。

なお、最近5か年の決算規模並びに実質収支及び単年度収支の推移を示すと、次のとおりである。

最近5か年の決算規模並びに実質収支及び単年度収支の推移



(単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入 (A)	11,333	19,403	13,356	50,220	34,486
歳出 (B)	8,544	12,554	9,563	39,542	31,196
形式収支(A)-(B)	2,789	6,849	3,793	10,678	3,290
実質収支	2,789	6,849	3,793	10,678	3,290
単年度収支	△1,032	4,060	△3,056	6,885	△7,388

## (2) 財産に関する調書

ア 公有財産(建物及び山林) ※建物面積の小数点以下は四捨五入している。

区 分	面 積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎡)		
	令和元年度	平成30年度	増減	令和元年度	平成30年度	増減
建 物	57	57	0			
山 林	7,706,637	7,706,637	0	325,538	325,538	0

本年度は、建物及び山林の面積に変動はない。立木の推定蓄積量については、5年ごとに成長量等を推計する際に、売払い等による減少分と合わせて算出している。本年度の数値は県が作成した森林簿(平成30年度調査)の数値を基にしたものである。

### イ 物 品

本年度は、物品に係る増減はなく、前年度末現在高と同じく、本年度末現在高も軽四輪貨物及びチェンソーの計3点となっている。

### ウ 基 金

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現在高	平成30年度末 現在高	増 減
田主丸財産区基金	252,110	251,247	863

増加分の863千円は、基金の運用による本年度の利子収入の一部を積み立てたものである。

## (3) むすび

本年度決算の概要及び財産の概況は、表及びグラフ等に示したとおりである。それらに係る特徴又は事情等としては、次のようなことが挙げられる。

歳入歳出決算において、歳入の3,448万6千円に対して、歳出は3,119万6千円で、差し引き後の実質収支額は329万円の黒字となり、単年度収支は738万8千円の赤字となっている。

歳入のうち、繰入金は前年度に比べて2,800万円減少しているが、これは、補助金や財産収入の増加に伴い、財産区基金からの繰入を行わなかったことによる。また、諸収入は、117万円減少しているが、これは主に、公益財団法人福岡県水源の森基金補助金の交付要綱改正により間伐に対する補助金がなくなったことによる。一方、財産収入は、木材を売却したことによる立木売払収入が388万2千円増加した。県支出金の96万2千円の増加と、市支出金の170万5千円の増加は、前年度の造林事業の規模の拡大に伴い、補助金が増加したことによる。剰余金として本年度に繰り越した繰越金は、前年度決算剰余金の増により、688万5千円増加している。

一方、歳出のうち、林業費は前年度に比べて974万円減少しているが、これは、令和元年8月の大雨により森林作業道の一部が崩落した影響で造林事業計画の規模を縮小したことによる。また、諸支出金は101万8千円増加しているが、これは公債費償還金が増加したことによる。

新たな収入源として、平成24年度から取り組んでいるカーボン・オフセット・クレジット事業<sup>(注)</sup>は、8年間で、売上収入の累計が751万8千円となり、当初からの投資金額(307万3千円)を上回っている。今後も、PR活動をさらに推進し、販路開拓を行うなど、平成27年度及び平成29年度に再認証を受けたクレジットを活用し、当事業の一層効果的な運営に努められたい。

一方で、平成8年度から11年度まで公有林整備資金として借り入れた債務は、平成29年度から元利償還が開始され、令和11年度まで最大で年に453万1千円の支出が続くことになる。その償還のための資金は、本年度は基金からの繰入れはなかったものの、中期財政計画によると、今後は基金を毎年取り崩しての返済を予定しており、財政事情は良好とは言えない。

林業従事者の減少及び高齢化など、林業を取り巻く状況は引き続き厳しいものとなっている。財産区には、森林整備により森林の多面的機能(水源かん養機能、土砂災害防止機能、二酸化炭素の吸収機能等)を維持増進させるという、公共的・公益的な役割も求められる。近年、頻発する集中豪雨等を踏まえた森林保全の対策も行いつつ、今後も引き続き、長期的な視点に立ち、財産区としての将来を慎重に検討した上で、適正な運営に努められたい。

(注) オフセット・クレジット制度とは、カーボン・オフセット(日常生活や経済活動において発生する二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量について、削減努力によってもなお削減できない温室効果ガスについて、植林やクリーンエネルギー事業等で相殺するという考え方)に用いる温室効果ガスの排出削減量・吸収量を、信頼性のあるものとするため、第三者が認証する制度。

(資料1) 田主丸財産区 令和元年度 歳入歳出予算決算対照表

歳入

(単位:円・%)

款別	(イ) 予算現額	調定額	(ロ) 収入済額	不納欠損額	収入未済額	(ロ)の(イ)に対する割合	収入済額の構成比率
1 県支出金	16,910,000	7,697,040	7,697,040	0	0	45.5	22.3
2 市支出金	2,324,000	2,009,440	2,009,440	0	0	86.5	5.8
3 財産収入	16,065,000	12,935,051	12,935,051	0	0	80.5	37.5
4 繰入金	9,000,000	0	0	0	0	0	0
5 繰越金	6,544,000	10,678,234	10,678,234	0	0	163.2	31.0
6 諸収入	1,975,000	1,166,160	1,166,160	0	0	59.0	3.4
合計	52,818,000	34,485,925	34,485,925	0	0	65.3	100

歳出

(単位:円・%)

款別	予算現額			(ロ) 支出済額	不用額	(ロ)の(イ)に対する割合	支出済額の構成比率
	当初予算額	補正予算、繰越等、予備費、流用増減	(イ) 計				
1 議会費	3,720,000	0	3,720,000	3,078,071	641,929	82.7	9.9
2 総務費	2,417,000	0	2,417,000	1,110,274	1,306,726	45.9	3.5
3 林業費	42,567,000	0	42,567,000	23,394,580	19,172,420	55.0	75.0
4 諸支出金	3,614,000	0	3,614,000	3,612,810	1,190	100.0	11.6
5 予備費	500,000	0	500,000	0	500,000	0	0
合計	52,818,000	0	52,818,000	31,195,735	21,622,265	59.1	100

(資料2) 田主丸財産区 歳入歳出決算額の年度別比較表

(単位:円・%)

款別	令和元年度			平成30年度			平成29年度		
	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率
歳入決算額	34,485,925	△ 31.3	100	50,220,675	276.0	100	13,356,391	△ 31.2	100
1 県支出金	7,697,040	14.3	22.3	6,734,600	511.8	13.4	1,100,720	△ 29.9	8.2
2 市支出金	2,009,440	560.8	5.8	304,090	皆増	0.6	0	皆減	0
3 財産収入	12,935,051	42.9	37.5	9,052,628	761.6	18.0	1,050,672	△ 83.8	7.9
4 繰入金	0	皆減	0	28,000,000	833.3	55.8	3,000,000	△ 57.1	22.5
5 繰越金	10,678,234	181.5	31.0	3,793,051	△ 44.6	7.6	6,849,325	145.5	51.3
6 諸収入	1,166,160	△ 50.1	3.4	2,336,306	72.3	4.6	1,355,674	65.2	10.1
歳出決算額	31,195,735	△ 21.1	100	39,542,441	313.5	100	9,563,340	△ 23.8	100
1 議会費	3,078,071	9.8	9.9	2,804,131	△ 15.7	7.1	3,327,803	24.4	34.8
2 総務費	1,110,274	10.0	3.5	1,009,247	△ 25.8	2.5	1,359,957	△ 31.6	14.2
3 林業費	23,394,580	△ 29.4	75.0	33,134,702	1,450.3	83.8	2,137,320	△ 72.9	22.4
4 諸支出金	3,612,810	39.3	11.6	2,594,361	△ 5.3	6.6	2,738,260	皆増	28.6
5 予備費	0	-	0	0	-	0	0	-	0